



災害時のアレルギー治療薬

目次

I. 外用薬	2
II. 吸入薬	4
III. 点鼻薬(鼻噴霧薬)	5
IV. 点眼薬	6
V. 内服抗ヒスタミン薬	7

I. 外用薬

1. ステロイド外用薬

ステロイド外用薬は、I群からV群の5つのランクがあります。

- 体の湿疹病変にはベリーストロング(Ⅱ群)ないしストロングクラス(Ⅲ群)のステロイド外用薬を使います。
- 顔面・頸部・陰部の湿疹病変にはミディアムクラス(Ⅳ群)のステロイド外用薬を使います。
- 外用薬は室温で保管してください。
- 湿疹の悪化があり、限られたステロイド外用薬しか入手できない場合には、短期間(1週間以内)ならどのステロイド外用薬を使用してもよいです。ただし顔面の湿疹病変にはストロングゲスト(I群)のような強いステロイド外用薬は避けてください。

ステロイド外用薬のランク (以下を参考に、もともとの治療・管理レベルを落とさずに処方可能な薬剤で代用ください。)

ストロングゲスト(I群)	0.05% クロベタゾールプロピオン酸エステル(デルモベート) 0.05% ジフロラゾン酢酸エステル(ジフラルール, ダイアコート)
ベリーストロング(Ⅱ群)	0.1% モメタゾンフランカルボン酸エステル(フルメタ) 0.05% 酪酸プロピオン酸ベタメタゾン(アンテベート) 0.05% フルオシノニド(トプシム) 0.064% ベタメタゾンジプロピオン酸エステル(リンデロンDP) 0.05% ジフルプレドナート(マイザー) 0.1% アムシノニド(ビスダーム) 0.1% 吉草酸ジフルコルトロン(テクスメテン, ネリゾナ) 0.1% 酪酸プロピオン酸ヒドロコルチゾン(パNDERL)
ストロング(Ⅲ群)	0.3% デブドノンプロピオン酸エステル(エクラー) 0.1% プロピオン酸デキサメタゾン(メサデルム) 0.12% デキサメタゾン吉草酸エステル(ボアラ) 0.1% ハルシノニド(アドコルチン) 0.12% ベタメタゾン吉草酸エステル(ベトネベート, リンデロンV) 0.025% フルオシノロンアセトニド(フルコート)
ミディアム(Ⅳ群)	0.3% 吉草酸酢酸プレドニゾロン(リドメックス) 0.1% トリアムシノロンアセトニド(レダコート) 0.1% アルクロメタゾンプロピオン酸エステル(アルメタ) 0.05% クロベタゾン酪酸エステル(キンダベート) 0.1% ヒドロコルチゾン酪酸エステル(ロコイド) 0.1% デキサメタゾン(グリメサゾン, オイラゾン)
ウィーク(V群)	0.5% プレドニゾロン(プレドニゾロン)

アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021. 日皮会誌 131:2691, 2021 より一部改変して引用。

2. 保湿外用薬

- 皮膚の乾燥症状に対して、保湿外用薬を塗布します。
- 湿疹があるところには、ステロイド外用薬と重ねて塗ってください。
- 1日に何回塗っても大丈夫です。

保湿・保護を目的とした主なスキンケア外用薬

一般名	代表的な製品名
1) 皮表の保湿を主としたもの	
ヘパリン類似物質含有製剤	ヒルドイドクリーム、ヒルドイドソフト軟膏 ヒルドイドローション、ヒルドイドフォーム
尿素製剤	ケラチナミンコーワクリーム、パスタロンソフト軟膏 パスタロンクリーム、パスタロンローション ウレパールクリーム、ウレパールローション
2) 皮表の保護を主としたもの	
白色ワセリン	白色ワセリン、サンホワイト(精製ワセリン)、 プロペト(精製ワセリン)
亜鉛華軟膏	亜鉛華軟膏 亜鉛華単軟膏
その他	アズノール軟膏

アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021. 日皮会誌 131:2691, 2021 より一部改変して引用.

● 処方例

- 顔の湿疹に対して → キンダベート軟膏、ロコイド軟膏、1日1～2回、塗布
- 体の湿疹に対して → アンテベート軟膏、マイザー軟膏、1日1～2回、塗布
- 乾燥症状に対して → ヒルドイドソフト、白色ワセリン、1日1～2回、塗布

II. 吸入薬

- 「増悪(発作)時に頓用で用いる吸入薬(レリーバ)」と「増悪予防のための毎日の吸入薬(コントローラ)」があります。

SABA(短時間作用型β刺激薬)	レリーバに用いる薬剤です。動悸や手の震えなどの副作用があります。
ICS(吸入ステロイド薬)	コントローラの主役です。
LABA(長時間作用型β刺激薬)	ICSと併せてコントローラとして使用します。ICSとの合剤が一般的です。 ※LABAとSABAの性質も併せ持つホルモテロールを含む薬剤のシムビコートはレリーバとしても使用可能です。
LAMA(長時間作用型抗コリン薬)	ICSと併せてコントローラとして使用します。ICS/LABAとの合剤が一般的です。

1. コントローラ

(括弧内は喘息ではなくCOPDへの薬剤ですが、ICSと一緒にあればコントローラとして臨時使用可)

デバイスの種類	ICS	LABA	LAMA	ICS/LABA	ICS/LABA/LAMA
エリプタ	アヌイティ	-	(エンクラッセ)	レルベア	テリルジー
ディスカス	フルタイド	セレベント	-	アドエア	-
タービュヘイラー	パルミコート	(オーキシス)	-	シムビコート	-
ブリーズヘラー	-	(オンプレス)	(シープリ)	アテキュラ	エナジア
レスピマツト	-	-	スピリーバ	-	-
pMDI (スプレー製剤) スプレー使用が 望ましい	オルベスコ キューバル フルタイドエア			フルティフォーム アドエアエア	(ビレーズトリ)
その他	パルミコート懸濁液 ネブライザーが必要				

- ICS/LABAの治療強度は以下を参考に、もともとの治療・管理レベルを落とさずに処方可能な薬剤で代用ください。

アドエアディスカス 100-250/500 ≒ レルベア 100/200 ≒ シムビコート 2-4吸入/8吸入 ≒ アテキュラ 低-中/高
シムビコート 1吸入 ≒ フルティフォーム125 1吸入 ≒ アドエア125エア 1吸入

2. レリーバ

- pMDIのメプチン(キッド)エア、サルタノールと、ドライパウダー製剤のメプチンスイングヘラーがあります。
- メプチン吸入液ユニット、ベネトリン液の吸入の際は災害時に備えて乾電池式ネブライザを用意しておくとう安心です。
- 処方例

【15歳以上】

コントローラとレリーバを組み合わせる場合

- ・ 軽症・中等症:レルベア100 1吸入/回×1回/日 + 増悪時にメプチンエア 2吸入/回 頓用*
- ・ 重症:エナジア高用量 1吸入/回×1回/日 + 増悪時にメプチンエア 2吸入/回 頓用*

シムビコートをレリーバ・コントローラ兼用で使用する場合

- ・シムビコート 2吸入/回×2回/日 増悪時2吸入追加(最大8吸入/日)

【15歳未満】

- ・ 軽症・中等症:オルベスコ 100-200 1吸入/回×1回/日 + 増悪時にメプチンキッドエア 2吸入/回 頓用*
- ・ 重症:アドエア50エア 2吸入/回×2回/日 + 増悪時にメプチンキッドエア 2吸入/回 頓用*

*レリーバは効果が乏しければ20分後に追加で2吸入し、改善ないときは病院に受診する

Ⅲ. 点鼻薬（鼻噴霧薬）

1. 鼻噴霧用ステロイド薬

現在アレルギー性鼻炎に対しては、内服薬以外では、鼻噴霧用ステロイド薬が代表的な薬剤です。噴霧により、水様性鼻汁、鼻閉、くしゃみなどの症状に対して効果があると考えられています。

小児用と成人用で規格が異なっている薬剤と、小児及び成人で規格が同一の薬剤があり、1回あたりの噴霧回数と1日あたりの噴霧の頻度の違いに注意が必要です（なお、製剤により異なりますが2歳未満に適応があるものではありません）。

いずれの薬剤も局所効果が強く、吸収されにくいいため、短期間の使用であれば問題となる副作用は少ないと考えられています。局所的副作用として、軽度の鼻内刺激感、乾燥感、鼻灼熱感、鼻出血などがあります。点鼻の刺激により鼻汁が悪化してしまう場合には、点鼻を一旦中止してください。

本邦で使用できる鼻噴霧用ステロイド薬

- ベクロメタゾンプロピオン酸エステル（リノコートなど）
- フルチカゾンプロピオン酸エステル（フルナーゼなど）
- モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物（ナゾネックスなど）
- フルチカゾンフランカルボン酸エステル（アラミストなど）
- デキサメタゾンシペシル酸エステル（エリザスなど）

2. 点鼻用血管収縮薬

血管収縮薬を含む点鼻薬は、鼻閉の症状が重い方に用いられています。鼻閉改善に対して即効性があるとされており、鼻噴霧用ステロイドと併用することでより効果的であると考えられています。ただし2歳未満の乳幼児や、モノアミン酸化酵素（MAO）阻害剤投与中の患者に対しては禁忌となっており、注意が必要です。

● 処方例

- 抗ヒスタミン薬の内服を行っても効果が不十分な場合や同薬の内服ができない場合
→ アラミスト点鼻液 各鼻腔に2噴霧/回 1日1回投与
- それでも鼻閉症状が残るとき
→ プリピナ液 0.05% 各鼻腔に2-4滴/回 1日2回投与

※小児投与量は上記の半量が目安となります

鼻アレルギー診療ガイドライン（2020年版より一部引用）

IV. 点眼薬

- 眼の痒み、充血、流涙などの症状に対しては抗アレルギー点眼薬を使用します。
- 抗アレルギー点眼薬のうち抗ヒスタミン作用がある点眼薬は即効性があります。
- 難治性重症アレルギー性結膜疾患(春季カタルなど)では免疫抑制点眼薬やステロイド点眼薬も使用します。

1. 抗アレルギー点眼薬

抗ヒスタミン作用あり	エピナスチン塩酸塩(アレジオンLX、アレジオン)
	オロパタジン塩酸塩(パタノール)
	レボカバスチン塩酸塩(リボスチン)
	ケトチフェンフマル酸塩(ザジテン)
抗ヒスタミン作用なし	アシタザノラスト水和物(ゼペリン)
	イブジラスト(ケタス)
	トラニラスト(リザベン、トラメラス)
	ベミラストカリウム(アレギザール)
	クロモグリク酸ナトリウム(後発品のみ)

2. 免疫抑制点眼薬

シクロスポリン(パピロックミニ)
タクロリムス水和物(タリムス)

3. ステロイド点眼薬

フルオロメトロン(フルメトロン、オドメール)
ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム (リンデロン、サンベタゾン、ベルベゾン)

アレルギー性結膜疾患診療ガイドライン(第3版).
日眼会誌125:741-785、2021より一部改変して引用。

- 未開栓、開封後ともに常温保管です。
- 開栓後の使用期限は1か月(パピロックミニは単回使用)です。
- 免疫抑制点眼薬やステロイド点眼薬を常時使用中の方は、点眼の中断によって症状が悪化する可能性があります。
- 免疫抑制点眼薬は希少疾病用医薬品のため災害時に入手困難となる可能性があります。
- 長期間の使用を要する場合は、眼圧上昇など確認のため早めの眼科受診を勧めてください。
- 処方例

※点眼は1回1滴です。2回は朝と夕、4回は朝、昼、夕、寝る前です。用法以上に点眼しても効果は同じです。

① 未治療の場合

➔ 抗ヒスタミン作用ありの点眼1種開始:アレジオンLX2回orアレジオン4回orパタノール4回

② 抗ヒスタミン作用のない抗アレルギー点眼薬を使用中の症状の悪化

➔ 抗ヒスタミン作用あり点眼に切り替え(上記①)

③ 抗ヒスタミン作用ありの抗アレルギー点眼薬を使用中の症状の悪化

➔ 抗ヒスタミン作用あり抗アレルギー点眼薬+ステロイド点眼(フルメトロン0.1% 2~4回)

V. 内服抗ヒスタミン薬

- 以下の疾患の症状管理薬や増悪時頓用薬として使用します。
アナフィラキシー、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症、蕁麻疹、アトピー性皮膚炎
- 非鎮静性(H1受容体占拠率が2割未満)の第2世代の抗ヒスタミン薬を第1選択とします。
- 薬効には個人差があるため、患者さんや各医師の使い慣れている薬剤を第1選択としてもかまいません。
- すぐに効果が出る場合もあれば、安定した効果を得られるまでに1週間ほどを要することもあります。
- 効果が不十分な場合には以下のような対応を検討ください。
 - ① 同様の薬剤を倍量投与する
例: アレグラ 1回1錠 1日2回 → 1回2錠 1日2回
※デザレックス、ビラノアには添付文書上に「適宜増減可」の記載なし。
 - ② 構造の異なる他の抗ヒスタミン薬に変更する
例: アレグラ(ピペリジン・ピペラジン系)で効果が不十分ならばアレジオン(三環系)に変更
※ピペリジン・ピペラジン系: アレグラ、エバステル、ザイザル、ジルテック、タリオン、ビラノア
※三環系: アレジオン、アレロック、クラリチン、デザレックス、ルパフィン
- 処方例

アレグラ	(フェキソフェナジン)	60mg/回 30mg/回 5mg/回	1日2回, 1日2回, 1日2回,	12歳以上 2~11歳 6か月~1歳
アレジオン	(エピナスチン)	20 mg/回 10mg/回 0.25 ~ 0.5mg/kg/回	1日1回, 1日1回, 1日1回,	7歳以上 3~6歳 1~2歳
アレロック	(オロパタジン)	5 mg/回 2.5mg/回	1日2回, 1日2回,	7歳以上 2~6歳
エバステル	(エバスチン)	10 mg/回	1日1回,	15歳以上
クラリチン	(ロラタジン)	10 mg/回 5mg/回	1日1回, 1日2回,	7歳以上 3~6歳
ザイザル	(レボセチリジン)	5 mg/回 2.5mg/回 1.25mg/回 1.25mg/回	1日1回, 1日2回, 1日2回, 1日1回,	15歳以上 7~14歳 1~6歳 6か月~11か月
ジルテック	(セチリジン)	10 mg/回 5mg/回 2.5mg/回	1日1回, 1日2回, 1日2回,	15歳以上 7~14歳 2~6歳
タリオン	(ベボタスチン)	10 mg/回	1日2回,	7歳以上
デザレックス	(デスロラタジン)	5 mg/回	1日1回,	12歳以上
ビラノア	(ビラスチン)	20 mg/回	1日1回,	15歳以上
ルパフィン	(ルパタジン)	10 mg/回	1日1回,	12歳以上

※アレグラ、クラリチン、デザレックス、ビラノアは添付文書上に自動車運転についての記載なし。
 ※クラリチンは原則食後服用だが空腹時でも構わない。ビラノアは空腹時に服用する。
 ※シロップ製剤は保管に注意を要するため、ドライシロップ製剤や錠剤などを選択する。